

# アクセラレータカード ご使用前に

アクセラレータカード nVidia Tesla® K20m/K20Xm

日本語

# アクセラレータカード ご使用の前に

クイックインストールガイド  
nVidia Tesla® K20/K20X 用

バージョン	日付	説明
1.1	2013年3月25日	初回リリース版
1.3	2013年9月10日	アップデート版

# 目次

1. 本書について .....	4
2. サポートされる構成 .....	5
2.1. リリースされているハードウェア .....	5
2.2. 必要なファームウェア .....	5
2.3. 必要な BIOS バージョン .....	5
3. BIOS 設定の変更 .....	6
3.1. BIOS セットアップの開始 .....	6
3.2. 適切なメニューの選択 .....	6
3.3. 関連するエントリの値の変更 .....	7
3.4. 変更の確認 .....	8
4. 終了手順 .....	8

## 1. 本書について

本書では、アクセラレータカードを使用する前に行う必要のある変更について説明します。本書はオンラインで以下の Web サイトから入手できます。

- <http://manuals.ts.fujitsu.com> (EMEA 市場向け)
- <http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/manual/> (日本市場向け)

アクセラレータカードの取り付けについては、各サーバの『アップグレード&メンテナンスマニュアル』(上記 Web サイトから入手できます)に記載されています。



製造メーカーのマニュアルは、以下の Web サイトから入手できます。

- <http://www.nvidia.eu/tesla>
- <http://docs.nvidia.com/cuda/index.html>

最新のドライバおよびファームウェアのバージョンは、Fujitsu サポート Web ページから取得できます。

- <http://ts.fujitsu.com/support/> (EMEA 市場向け)
- <http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/downloads/> (日本市場向け)

## 2. サポートされる構成

### 2.1. リリースされているハードウェア

以下の PRIMERGY サーバはアクセラレータカードをサポートします。

- CX270 S2
- TX300 S7/S8
- RX350 S7/S8

以下のアクセラレータカードは、上記の PRIMERGY サーバに取り付けることができます。

- nVidia Tesla® K20m
- nVidia Tesla® K20Xm

### 2.2. 必要なファームウェア



弊社は、ファームウェアアップデートによって生じるサーバへの破損またはデータ損失について責任を負いません。

PRIMERGY TX300 S7/RX350 S7 サーバの場合のみ：



アクセラレータカードを取り付ける前に、各サーバの iRMC ファームウェアの次のリリース（またはそれ以降）をインストールする必要があります：**iRMC FW 6.55 SDR 3.23**（必須）

### 2.3. 必要な BIOS バージョン

PRIMERGY TX300 S7/RX350 S7 サーバの場合のみ：



各サーバの BIOS バージョンは、**V1.19** 以降である必要があります。

### 3. BIOS 設定の変更

本章では、nVidia Tesla® アクセラレータカードの BIOS の変更方法について説明します。アクセラレータカードをサーバ搭載時には必ず BIOS 設定の変更が必要になります。

**i** CX270 S2 の場合に、次の手順は必要ありません。

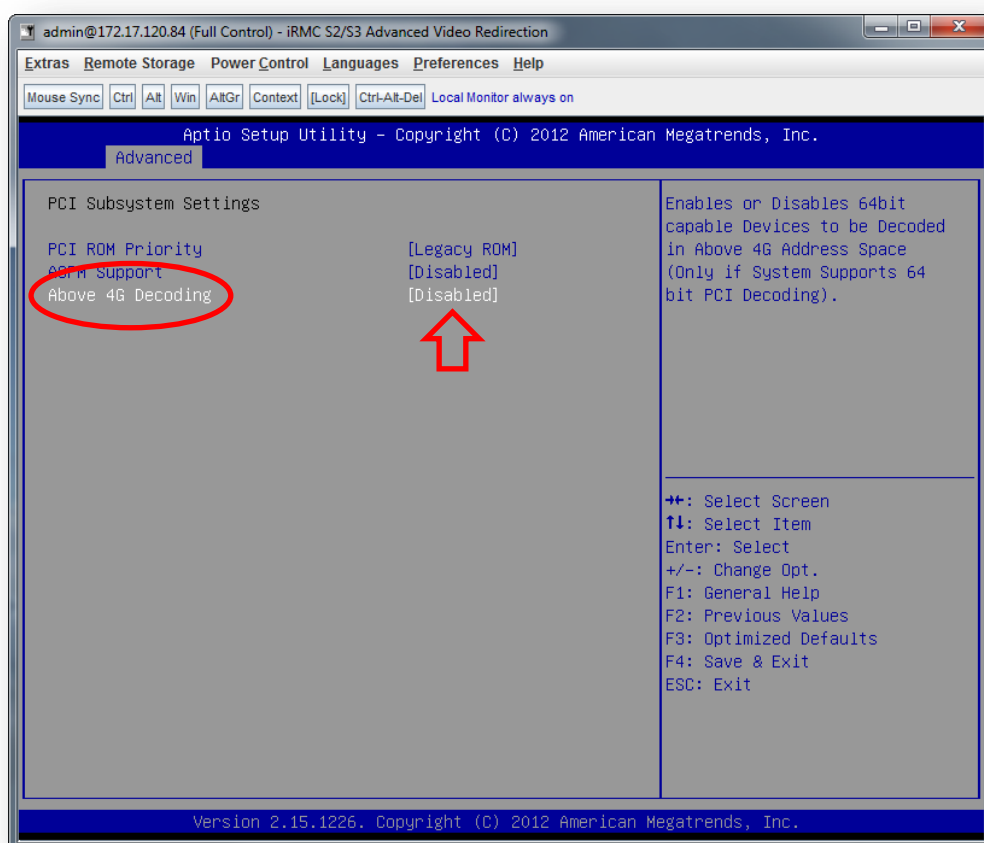
#### 3.1. BIOS セットアップの開始

**i** すべての手順はルートユーザとして実行します。

- BIOS セットアップを開始します。

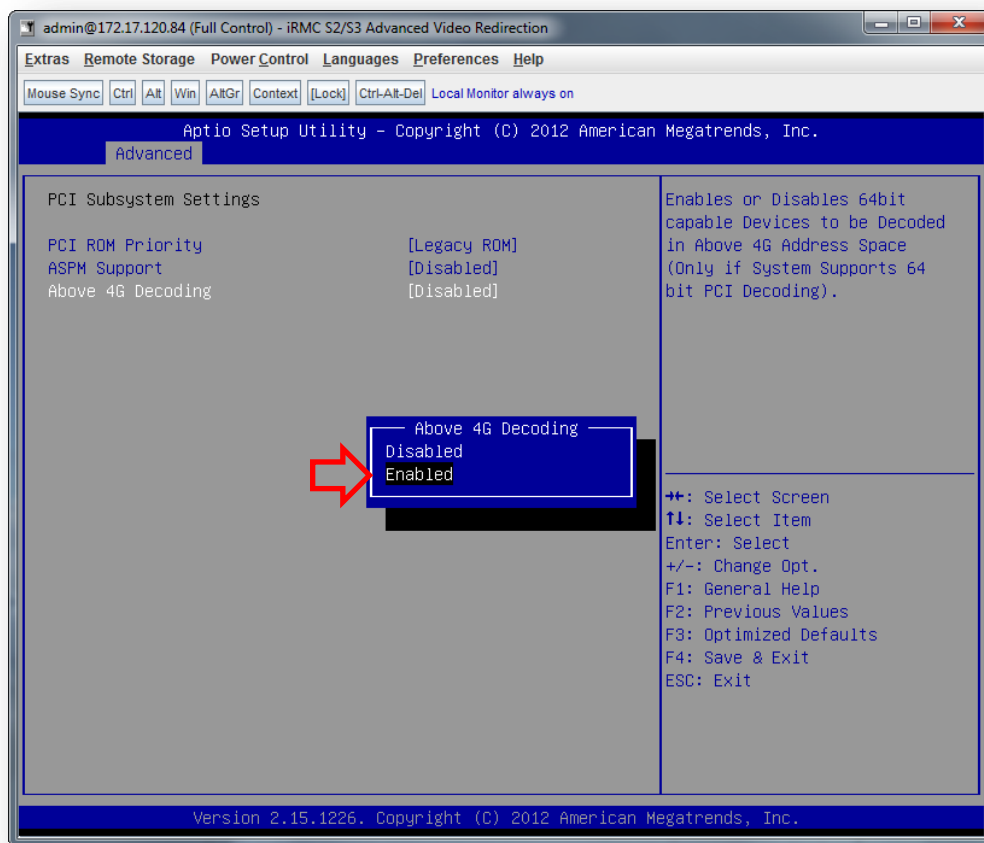
#### 3.2. 適切なメニューの選択

- 「Advanced」メニューを選択します。
- 次に「PCI Subsystem Settings」を選択します。



- 「Above 4G Decoding」 エントリを選択します（円で囲んだ部分を参照）。デフォルト値は「Disabled」です（矢印の部分を参照）。

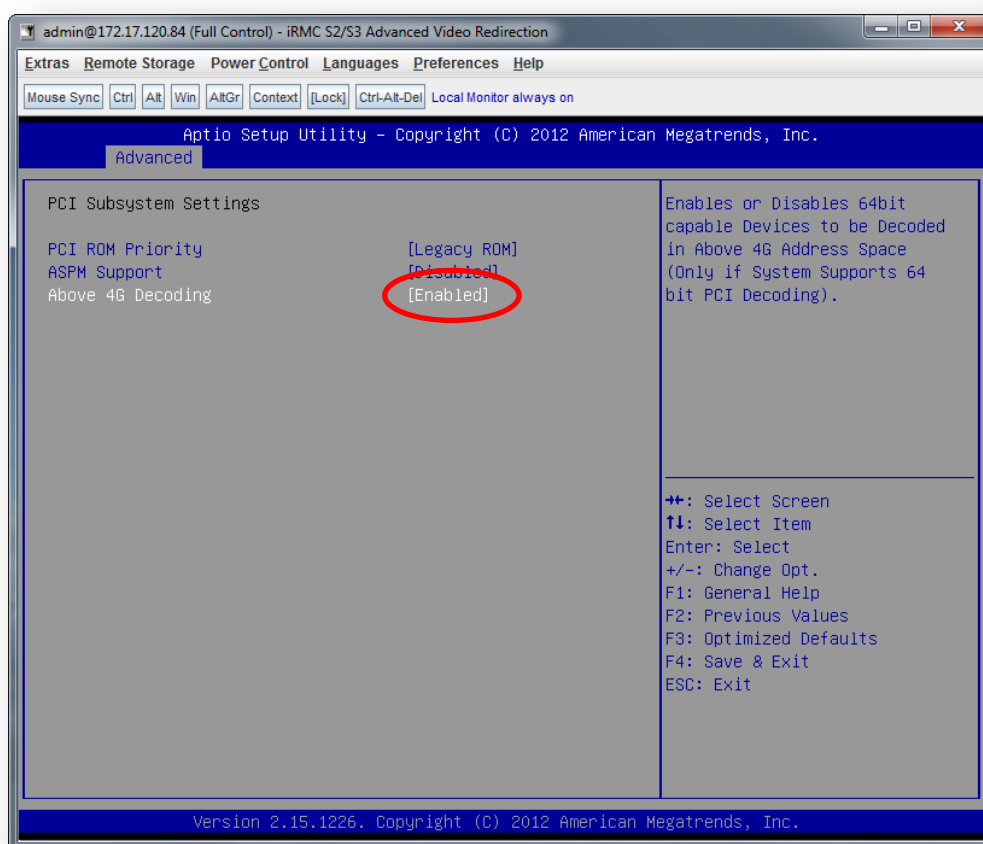
### 3.3. 関連するエントリの値の変更



- ここでこの値を「*Enabled*」に変更します（矢印の部分参照）。これでアクセラレータカードが有効になります。

**i** 「*Restore Defaults*」を使用してデフォルト値を読み込むと、BIOS エントリ「*Above 4G Decoding*」が「*Enabled*」から「*Disabled*」に戻りますのでご注意ください。

### 3. 4. 変更の確認



- 値が「*Enabled*」に変更されていることを確認します（円で囲んだ部分を参照）。
  - 変更された BIOS エントリは、「*Restore User Defaults*」を使用して復元できるように、「*Save as User Defaults*」を使用して保存します。
- これで、アクセラレータカードを使用する準備が整いました。

## 4. 終了手順

- 「*Save and Exit*」を使用して BIOS セットアップを終了して変更されたエントリを維持し、サーバを起動します。これで、アクセラレータカードを使用できます。

**i** ファームウェアバージョンは、常に最新にしてください。最新バージョンは、Fujitsu サポート Web ページから取得できます。

- <http://ts.fujitsu.com/support/> (EMEA 市場向け)
- <http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/downloads/> 日本市場向け)